

B.建築→床作成

床作成

選択している部屋: 1個 事務室13

☐ 部屋のパラメータから床を作成する

床仕上 仕上表_床A_仕上
 床下地3
 床下地2
 床下地1 仕上表_床A_下地1

☒ 定義から床を作成する

仕上 C6 TC6 6
 下地 a OA100 100

☐ 構造体も作成する
 構造体 - 0

設定
 仕上高 ±0
☐ 仕上高を手動設定
☐ 補足説明
 ※タイプ名に接尾されます。

☒ 柱の「部屋の境界」を一時的にON
☒ 壁の「部屋の境界」を一時的にON
☐ GW
☐ 符号

床作成 床タイプ編集 キャンセル

上記定義で作成した床

質問1: 躯体境界に下地と仕上が入っていますが、躯体境界の上の方が良いでしょうか

質問2: テンプレートでデフォルトで入っているOAフロアは機能が構造[1]、床ツールで作成した場合は仕上1[4]になっていますが、どちらが良いでしょうか。

アセンブリを編集

ファミリ: 床
 タイプ: (-)aC6
 厚さの合計: 106.00 (既定値)
 抵抗(R): 0.0000 (m²K)/W
 熱容量: 0.00 kJ/(m²K)

レイヤ

	機能	マテリアル	厚さ	納まり	構造マテリアル	変数
1	躯体境界	納まりより上にあるレ	0.00			
2	仕上 2 [5]	TC6	6.00			
3	仕上 1 [4]	OA100	100.00			
4	躯体境界	納まりより下にあるレ	0.00			

テンプレートでデフォルトで入っている床タイプ

アセンブリを編集

ファミリ: 床
 タイプ: 内部_OA100_タイルカーペット_t7
 厚さの合計: 107.00 (既定値)
 抵抗(R): 0.0000 (m²K)/W
 熱容量: 0.00 kJ/(m²K)

レイヤ

	機能	マテリアル	厚さ	納まり	構造マテリアル	変数
1	仕上 2 [5]	タイルカーペット	7.00			
2	躯体境界	納まりより上にあるレ	0.00			
3	構造 [1]	OA100	100.00		<input checked="" type="checkbox"/>	
4	躯体境界	納まりより下にあるレ	0.00			